

大事協だより

大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第 62 号
2018 年 10 月 29 日発行

清秋のみぎり、いかがお過ごしでしょうか。
早いもので2学期も折り返し地点です。年末調整等忙しい時期ですが、しっかりとこなしていきましょう。



<学校事務現状報告会がありました>

8月10日(金)、鹿児島市の県教職員互助組合会館で、県事協主催の学校事務現状報告会がありました。大島地区からは、発表者含め12名が参加しました。

県内の2地区が取組・実践についての報告をし、質疑応答、その後2つの分散会に分かれて意見交換、最後に全体会をするのが例年の流れとなっています。今年度は、①「奄美市事務職員会と支援室」(大島地区：奄美市)、②「霧島市の学校事務支援室と市事務職員研修会と連携強化について」(始良伊佐地区：霧島市)という報告内容を元に討論がなされました。

他地区の事務の先生方と交流することのできる貴重な場です。来年度は是非ご参加ください。



大島地区代表として発表してくださった、牧 武志先生・吉澤 健 先生、ありがとうございました。

ちなみに、次回大島地区が報告をするのは、2022年となっています。



<各地区からのまたより>

今回の原稿は、龍郷町・知名町からいただきました。また、新規採用者の声も掲載しています。

知名町より、支援室だよりも提供していただきましたので、ぜひご覧ください。

龍郷町事務職員部会 龍郷町立戸口小学校 森田 洋人

今年度異動してきました、森田と申します。
龍郷町は一つの支援室、9校8名で活動しています。
私を含めて、今年度の異動者は2名で、ともに採用5年目の同期になります。

また支援室の残留メンバーにも更に2名、同期がおりまして、全体の半数の4名が採用5年目の同期というちょっと珍しい(?)構成となっています。

今年度の支援室の活動内容としましては、手当認定の審査や実績報告・旅費請求の相互点検などに加えて、①支援室だより「ひりゅう」の発行、②支援室HPの更新、③物品購入の共同見積もり、④保護者負担軽減に向けた取り組み、⑤旅行命令簿の様式統一への取り組み、⑥公務災害に関する研修の実施などに取り組んでいます。

①「ひりゅう」は昨年度まで一人が全てを担当していたものを、今年度からは全員で分担するように変更し、学期3回の年間9回発行を予定しています。

②支援室HPは、龍郷町HPの「学校ポータル」から見ることが出来ます。定期的に更新していますので、是非ご覧ください。また「ひりゅう」の閲覧も出来ます。

③共同見積もりをすることで、通常より安く見積もりが上がるようになります。また、今年度から1万円未満の物品がほぼ消耗品扱いとなりましたので、見積もりの結果、「備品」が「消耗品」に変化する物品も出てきました。

④保護者負担軽減に向けて、今年度は学校徴収金がどのような現状なのかを把握するために、夏休み中に各学校の帳簿等のデータを集約し、現在分析を行っています。

⑤旅行命令簿の様式統一をしっかりとすることで、相互点検の精度が上がり、更に時間短縮が見込まれます。来年度から統一様式を採用するために、積極的な意見交換を行っています。

⑥公務災害は頻繁には起こらないため、いざ起こってしまった時に、どういった事務処理が必要なのか曖昧です。そこで、実際に公務災害の対応をした事務職員の経験をもとに研修を行います。

以上の取り組みを中心に今年度活動している龍郷町事務職員部会を、今後ともよろしくお願ひいたします。



知名町事務職員会
知名町立田皆小学校 松留 美帆

みなさんこんにちは、知名町事務職員会です。
 本町の支援室と研修会のメンバーは同じで、小学校5名、中学校2名の計7名で構成されています。
 知名町は特徴として、児童分の徴収を含む給食事務関係全般を給食センターが行っています。事務職員を含む学校職員が給食費徴収に関わることがほとんどないため、大変助かっています。
 支援室は月に約3回、拠点校の知名小で、諸手当認定事務や給与・旅費等の県費点検業務を中心に、就学援助費等の町費事務支援及び効率化、年4回の支援室だよりの発行、若手事務職員への支援等を行っています。町費事務については、今年度共同で備品見積依頼を行い、事務職員と業者の負担軽減や、切手代の節約に繋げることができました。
 研修会は町単独が年5回、両町が年3回計画されています。昨年度より「効率的な事務引継書の作成」を研修テーマとし活動しています。今年度はその中でも、引継書とリンクする町費事務マニュアルの改訂を行っています。知名町に赴任された際、スムーズに業務に取り組めるよう、完成に向け全員で協力して取り組んでいるところです。
 さらに、今年度は町事務職員研修会の研修の一環として、教育安全振興会より講師を招聘・協議を行うことができました。PTA安全の部、子ども安全の部、助成金関係について詳しく教えていただき、知名町事務職員の自己研鑽に繋がりました。
 このように、知名町の子どもの学びやすい環境作りや先生方の教育活動がますます充実するよう、今後も知名町事務職員会一丸となって教育支援に携わっていきたくと考えています。

さて、昨年度はNHK大河ドラマ「西郷どん」の撮影があり、大いに盛り上がった沖永良部島。(エキストラで出演した事務職員も。見つけられましたか?) 撮影後、使用された衣装は和泊町にある西郷南洲記念館に展示され、下記写真の撮影セットの一部は移設されて残っています。来島する機会がありましたら是非行かれてみてください。



(西郷どんの撮影地：知名町正名の海岸)



初めての学校事務
知名町立知名中学校 豊島 丞一朗

皆さんこんにちは。今年度より期限付き採用されました知名町立知名中学校の豊島丞一朗と申します。
 沖永良部島にある知名中学校ですが、私自身もこの沖永良部島出身で、昨年度は知名町の教育委員会に勤めておりました。そのおかげで、初任者ではありますが町費事務を始めとした業務の一部については理解しやすく、また支援室業務の際にサポートも頂きながら毎日の仕事を行っています。しかし、まだまだ経験不足のため、書類提出が遅れたり、業務が滞ったりするなど迷惑をかけてしまうこともあります。その時は、反省を行い、今後の学校運営をしっかりとサポートできるよう活かしていきたいと思っています。
 さらに、学校ではサッカー一部の顧問を任されており、他にも学校職員として行事への参加や先生方との交流など貴重な経験をする中で、とてもやりがいを感じる事ができ、自分はこのような環境でのびのびと育ててもらえたのだなと改めて知ることもできました。慣れない中、多忙な毎日ですが、地元である町内で中学生に「先生」と声をかけてもらうことに気恥ずかしさを感じながら、そんな子どもたちの大切な成長の場を、学校職員や地域の方と協力しながら、よりよくしていくために取り組んでいこうと思います。今後ともよろしく願いいたします。



* 第63号は、編集担当が奄美市笠利ブロック、原稿提出が大和村・和泊町となっています。よろしくお願いいたします。